

病虫害発生速報(10月25～26日, 11月15～16日調査)

病虫害防除所が実施した調査をもとに、平年値と比較した病虫害の発生速報です。

不明な点がありましたら、病虫害防除所予察班(TEL:022-275-8982)までお問い合わせください。

作物 (地点数)	病虫害名	調査時期	調査結果	備考
水稻 (57)	斑点米カメムシ類 (斑点米)	9月中旬	やや少	広域で斑点米が確認されましたが、被害粒率は平年よりやや低くなりました。また、地域別では県南部の発生地点が高く見られました。
大豆 (19)	紫斑病(子実)	10月下旬～ 11月上旬	平年並	広域で発病粒が確認され、発病粒率は平年並でした。
	べと病(子実)	10月下旬～ 11月上旬	平年並	広域で発病粒が確認され、発病粒率は平年並でした。また、一部発病粒率が高いほ場が確認されました。
	フタスジヒメハムシ (子実)	10月下旬～ 11月上旬	少	広域で被害が確認されましたが、被害莢率及び被害粒率は平年より低くなりました。
	マメシンクイガ (子実)	10月下旬～ 11月上旬	やや少	広域で被害が確認されましたが、被害粒率は平年よりやや低くなりました。
	吸実性カメムシ類 (子実)	10月下旬～ 11月上旬	やや少	県中部及び県北部のほ場で被害が確認され、被害粒率は平年よりやや低くなりました。
なし (11)	黒星病 (秋型病斑)	5月中旬～ 10月下旬	少	県南部のほ場で果そう葉及び新梢葉で発病が確認されましたが、発生地点率及び発病葉率は平年より低くなりました。
いちご 令和5年産 本ば(13)	うどんこ病	10月中旬～ 3月中旬	少	発病は確認されませんでした。
	萎黄病	10月中旬～ 12月中旬	少	県南部では発病が認められたため株の植替えをしたほ場が複数ありました。
	アザミウマ類	10月中旬～ 3月中旬	平年並	県南部の一部ほ場で寄生花が確認されました。
	コナジラミ類	10月中旬～ 3月中旬	平年並	広域で発生が確認され、県南部及び県北部で寄生頭数が多いほ場が確認されました。
	ハダニ類	10月中旬～ 3月中旬	平年並	県南部及び県北部で発生が確認され、発生地点率及び寄生頭数は平年並でした。